

令和6年度 二子小学校教職員 働き方改革アクションプラン

ニコニコ
～いきいき 二子二子 職員室～

二子小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

[定量的現状]

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間が月80時間以上のものを前年度比3割減とする。」
・本校実績:R4年度1人・R5年度1人 目標→R6年度 0人
「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」
・本校実績:R4年度0人、R5年度0人 目標→R6年度 0人

[定性的現状]

- 教職員の意識
・当校の負担軽減(負担感の軽減)の取組が推進されているが、全職員の負担感の解消までには至っていない。長時間の時間外勤務教職員の固定化
- 管理職のマネジメント
・教職員評価を通して、働き方、業務・行事の精選・見直しを進めている。
・早めに帰られる日の声かけやチームとしての対応の推進を行っている。



2 目標・目指す姿

<R6年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」に掲げるR6年度の目標を達成します。
 - 本校に勤務する先生方のワーク・ライフ・バランスを向上します。
- ### <目指す姿>
- ・ 子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが、図られている。
 - ・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
 - ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
 - ・ 管理職が日頃から、教職員に対しコミュニケーションを図っている。
 - ・ 教職員が、やりがいを感じながら、チーム二子小となって教育活動を行い、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの「時間外在校時間100時間ゼロ」の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。また、80時間以上の職員もゼロをめざすとともに、45時間以上の職員を減らすよう努めます。
- ・ 問題対応について、一人で抱え込まないように管理職が積極的にサポートに当たり、組織的に対応します。
- ・ 管理職が、休暇の取得や時間を意識した行動について積極的に声掛けをします。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ ワーク・ライフ・バランスの向上に向け、負担軽減(負担感の軽減)の取組について検討します。
- ・ 教職員の学校評価項目に働き方推進の意見欄を設け、業務改善を自分事としてとらえた意見を吸い上げることで、ボトムアップの業務改善を進めます。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定していきます。(安全衛生委員会等)
- ・ 行事等については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から慎重に検討していきます。
- ・ 会議の進め方について、提案の効率化、事前配布による合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 外部からの依頼業務について精選を進め、関係団体との協議をしていきます。
- ・ 外部講師や授業補助の必要な教育活動については、地域学校支援員を中心に渉外等の対応します。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者、地域に理解いただけるよう周知していきます。
- ・ 課外の活動や夏休み中のプール開放などは、保護者の協力をいただきながら進めていきます。
- ・ 行政に対して、専門スタッフ(支援員等)の拡充を継続して働きかけていきます。

令和6年4月1日 二子小学校長 菅原 純

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

・ 令和4年度実績(6月調査)	7人	割合 1.2%
・ 令和5年度実績(6月調査)	9人	割合 1.6%

- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者を段階的に縮減し、令和6年度末までにゼロにする。

・ 令和4年度実績(6月調査)	38人	割合 6.7%
・ 令和5年度実績(6月調査)	38人	割合 6.2%